

家庭・地域との連携のもと、学校評価を有効に活用し、社会に開かれた教育課程の実現に向けた学校経営

垣根のない学校（ボーダレススクール） をめざす、チーム担任制の導入と効果

京都府

京都市立岩倉北小学校

三浦清孝

ボーダレススクール構想

ボーダレススクール構想

自走自在

自走とは、

- ①自分で考え
 - ②自分で決め
 - ③自分で行動し
 - ④自分で振り返る
- という一連の自立した行動

垣根をなくし、可能性を広げる
KYOTO×教育DXスクール

自在とは、

常に自分をもって、また、偏見や垣根なしに自分事として考えるという自覚的な意識

- 自分をもつが自分勝手ではない
- 他者を意識するが自分を失わない



ボーダレススクール構想



ボーダレススクール構想



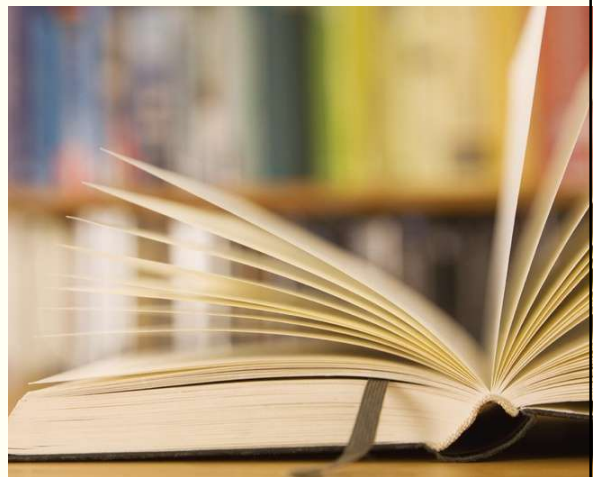
わからないから かんがえる
 じっくりするから おもしろい
 こまったときほど 力をあげ
 はなしかうから たのしいんだ
 いわきた

岩倉北の ボーダレススクール構想

公教育・公立学校の強みとリソースを生かした
 全方位型教育システムの構築

京都市立岩倉北小学校
 校長 三浦 清孝



岩倉北のボーダレススクール構想とは

学校の枠組みやシステムはあるが、それぞれの**垣根をつくらない**状況
授業も、学年も、学級も、教育課程も**ある**が、その**垣根をつくらない**
学びの中心に児童がいて、学校の枠組みやシステムを**児童の状況に応じて**

- ①個別最適化し、
- ②児童が主体的に、
- ③協働的に

学ぶことができる学校づくりをすすめる

一人一人の子どもを徹底的に大切にする

京都市の教育の具現化

岩倉北のボーダレススクールのイメージ

学校の枠組み・システム・教職員組織こそが、公教育・公立学校の

リソース・強み

そして、学校のリソースと強みだけで児童を育てるのではなく、

公教育・公立学校では、

地域が児童を育てる



令和5年度 京都市立岩倉北小学校 教職員組織			
校長	三浦 清孝 ①56	教務主任	長川 智子 ⑦45
教頭	平石 嘉也 ①41		
<チーム担任>			
高学年部	◎奥山優 ◎大嶋慧 中村瑞穂 後藤未沙 ※市川梨穂		
中学年部	◎熊谷さやか ◎吉川紗由美 樋口志未ほ 常勤講師 長川智子		
低学年部	◎堀井裕介 ◎坂元賢 安村萌佳 藤戸梨子 岡本万起子		
育成部	◎中井未悠 ◎ 育児短時間 育短補充 西井紀恵		
<学年担当>			
3 組	◎中井 未悠 ⑤32	育児短時間 ⑧33	育短補充 ④59
1 年	◎堀井 裕介 ④33	安村 萌佳 ②23	※前浪 杏結里
2 年	◎坂元 賢 ③27	藤戸 梨子 ②23	
3 年	◎熊谷 さやか ⑤39	常勤講師 ①26	
4 年	◎吉川 紗由美 ①35	樋口 志未ほ ③24	
5 年	◎大嶋 慧 ③34	後藤 未沙 ①22	※杉浦 由加利
6 年	◎奥山 優 ②35	中村 瑞穂 ④25	※中井 未悠
<学校体制>			
教務部・専科指導 ※	⑥36	LD等通級指導教室担当	常勤講師 ①67
養護教諭	西井 紀恵 ②26	初任研指導	伊藤 茂
栄養教諭	長谷川みずほ②	スクールポーター(音楽)	大藤原理恵 ⑤55
事務職員	川崎 千春 ②52	管理用務員	伊佐 良幸 ③62
給食調理員	武名久美子 ⑧57	給食調理員	佐藤 智子 ②55
給食調理員	富田 博美 ①62	総合育成支援員	松岡由美 ④65
			吉村 三和 ②50
校務支援員	永谷由香利 ①41	学校司書	新井 信明④
スクールカウンセラー	山本 春香 ③	ALT	Angela Wu②

学級担任制



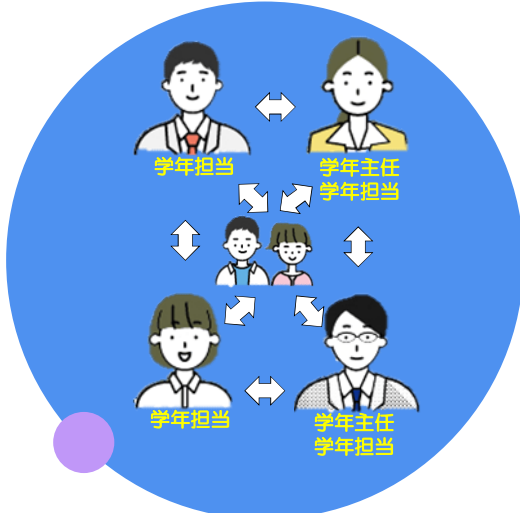
従来の学級担任制の構図

- ①学級担任と学級児童の関係性
 - ・ 固定的な人間関係→信頼関係
 - ・ 学級担任の見取りが「絶対的」
- ②学年主任と学級担任の関係性
 - ・ 主任と担任の関係が学年の基本
- ③学級の垣根が「学級文化」
 - ・ 閉鎖的な学級づくり→担任の指導力
 - ・ 人間関係の閉塞感→担任への信頼

垣根を基本にした関係性の維持

11

チーム担任制



チーム担任制の目的

- ①全教職員で全校児童を見つめる仕組み
 - ・ 複数の目で多面的な理解
 - ・ 複数の手で多様な関わり
- ②「隣のクラスをつくらない」
 - ・ 元担任、元学級児童ばかりの学校へ
- ③学級の垣根をなくす
 - ・ 閉鎖的な学級づくりをなくす
 - ・ 人間関係の閉塞感をなくす

ななめの関係性をつくる

12

学級担任制

個業システム、学校体制は個業の集合体を機能させること。

「隣のクラス」の指導は、隣の学級担任が行う。

教科担任制

分業システム、学校体制は分業を効果的に機能させること。学級担任制は維持し、教科指導の分担（分業）は行うが、生徒指導や保護者対応等の

「隣のクラス」の問題は、隣の学級担任が行う。

チーム担任制

協業システム、学校体制は協業を有機的に機能させること。学級担任制はなくし、教科担当や生徒指導、保護者対応等もチームで行う。

「隣のクラスはつくらない」。

チーム担任制のメリットの 5つのメリット

**学校の中の垣根をなくす
ななめの関係性をつくる**

- ①ダイバシティ (多面的な理解)
- ②ベストミックス (関係性の向上)
- ③オープンソース (指導力の発揮)
- ④エージェンシー (目的と役割)
- ⑤フレキシブル (柔軟性)

①ダイバシティ Diversity

チーム担任制のメリット！

学級の垣根をなくすことで
複数の教員と関わることで



多面的な理解 多様な関わり

学年の教員が、チームの教員が、当たり前
に児童を見つめるシステムになる

ななめの関係性をつくる

②ベストミックス BestMix

チーム担任制のメリット2

困りをもつ教員や学級が孤立するシステムから



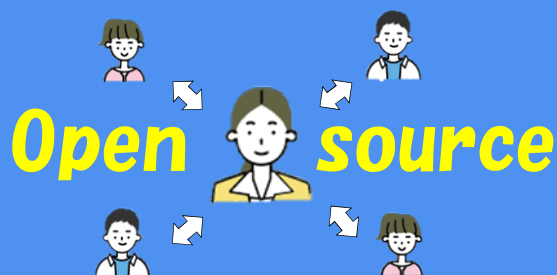
困りをもつ教員や学級をチームで対応する一人一人のよさを活かし合うシステムへ。

ななめの関係性をつくる

③オープンソース Open Source

チーム担任制のメリット3

教員のもつ力を学級児童だけに活用するシステムから



教員のもつ力をチーム児童へオープンソースとして活用するシステムへ。

ななめの関係性をつくる

④エージェンシー Agency

チーム担任制のメリット4

- 2学年1チームにすることで
- ①チーム内の**役割**が生まれる
 - ②チームが変わると校内の**ポジション**が変わる

場面と役割 責任と自覚



3年生は4年生になる
だけではなく、
**中学年チームの
リーダー**に

4年生は5年生
になるだけでは
なく、**高学年
チーム**に

チーム担任制のメリット5 1年生のフレキシブルスタート（学級編成の弾力化）

入学説明会

入学時
月齢別
仮編成

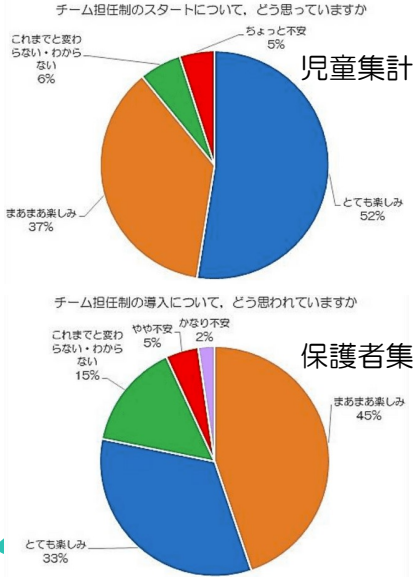
チーム
担任制

5月
本編成

大事な1年生のスタート
「フタを開けないとわからない」→
「フタを開けてから」チームで考える

フレキシブル
Flexible

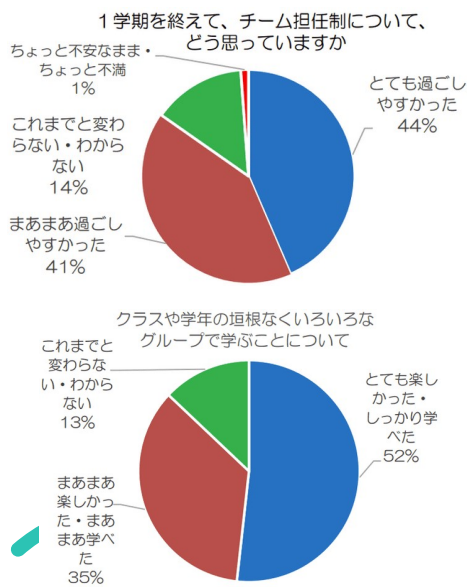
不安や反対はなかったのか 4月導入時



令和4年度チーム担任制導入時の児童及び保護者アンケート

- 児童、保護者の約半数がチーム担任制の導入に**大きな期待**をしている。
- 児童の「ちょっと不安」は、やったことがないことなので、どうなるかわからない「不安」であり、**チーム担任制への反対ではない**。
- 保護者の「やや不安」「かなり不安」は、我が子がチーム担任制に慣れるかどうかの不安、また、保護者自身が体験していないことへの不安であり、**こちらも児童同様にチーム担任制への反対ではない**。

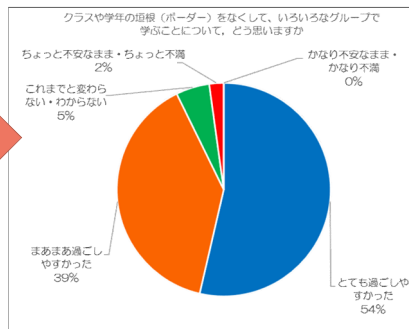
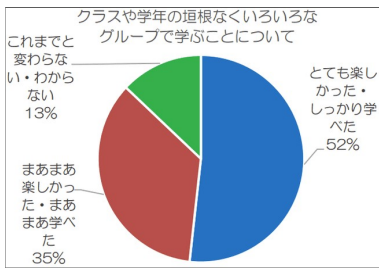
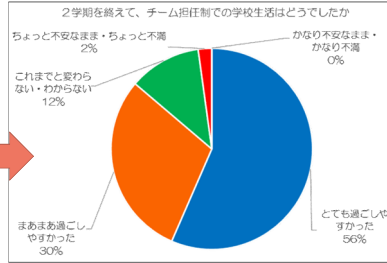
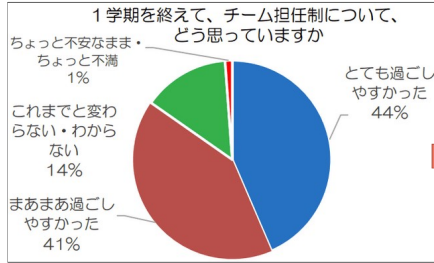
不安や反対はなかったのか 1学期末



1学期末、チーム担任制の児童アンケート

- 年度初めのアンケート（期待値）より、やや**低下**している。チーム担任制の**メリットを十分に感じる場面がすくなく**かった。
- チーム担任制や学級の垣根をなくす取組については、多くの児童が**プラス評価**をしている。
- ただし、1学期を終えても**不安が払しょくされない児童**がいる。
- 引き続き注視して取組をすすめるが、この児童の不安がチーム担任制に起因するものであるのか、学校生活そのものに対する不安であるのかは、寄り添いながら対応するようにしなくてはならない。

不安や反対はなかったのか 2学期末



2学期のアンケート結果から、**チーム担任制の機能と効果が安定してきた**ことが見えてきた。

ただし、学級担任制であってもチーム担任制であっても、**不安や不満をもちながら学校生活を送っている児童がいる。**

ここで、チーム担任制の強みである「**ななめの関係性**」を発揮し、多くの教員から様々な声かけと関わりをすすめていきたい。

2学期末の教職員アンケートから

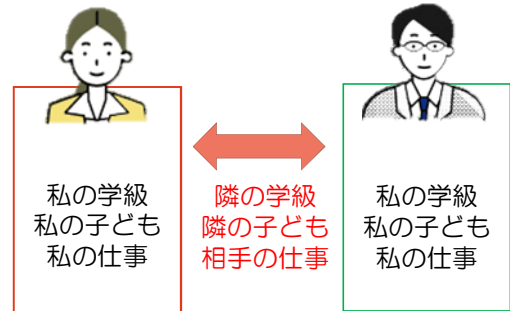
2学期末、チーム担任制の**教職員アンケート**から**メリット**として

- 生徒指導に効果があった。
- 学習指導に効果があった。
- 仕事の負担を減らすのに効果があった
- 来年度以降もチーム担任制を継続したい

一方、学級担任制と比べて、**デメリット**として、**負担が小さくなったと感じたことはありませんでした。**

例えば、**学習定着の様子や遅刻・欠席の把握がしにくく、学習面、生活面ともに必要な声かけ・指導がやりきれなかったと感じる毎日でした。**

同じ学校であっても、目の前の子どもが**クラスの垣根によって違うように見える**




目の前の子どもを徹底的に大切にする学校づくり


チーム担任制の迷い

小学校教員の「やりがい」である学級担任としての**充実感を得られない**
 学級担任ができてこそ小学校教員として一人前、チーム担任制では、いつまでも**一人前になれない**

一人前 価値観



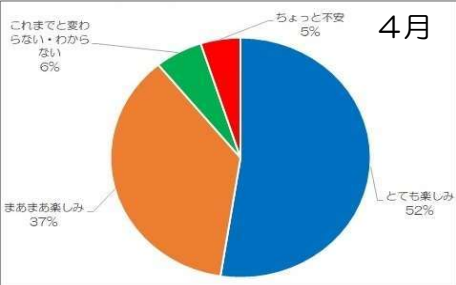
学校文化のイノベーション



指導力があり成功体験をもつ教員の**価値観**を、**チーム担任制の理解**にどうつなげるのか。
 学級担任の**個業を大切に**する**学校文化**を**チーム担任制の理解**にどうつなげるのか

不安や反対はなかったのか 3学期末

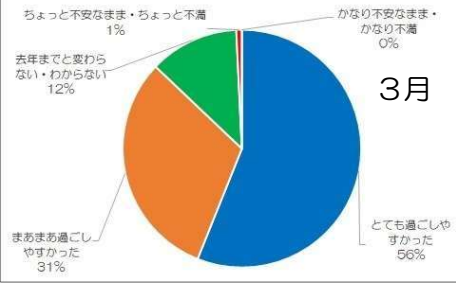
4月



Category	Percentage
とても楽しみ	52%
まあまあ楽しみ	37%
これまでと変わらない・わからない	6%
ちょっと不安	5%

- 2学期末のアンケート結果、年度末のアンケート結果ともに良好であり、**4月スタート時の期待通りの学校生活**であったと感じていることがわかった。
- また、不安傾向にある児童の割合も少ないままであった。これは、チーム担任制の不安だけでなく、**学校生活への不安傾向である**と捉えて、チームとして個別に関わりをもつようにしました。

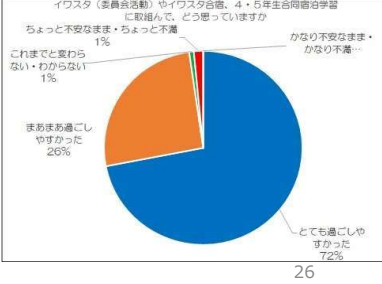
3月



Category	Percentage
とても満足しやすかった	56%
まあまあ満足しやすかった	31%
去年までと変わらない・わからない	12%
ちょっと不安なまま・ちょっと不満	1%
かなり不安なまま・かなり不満	0%

高学年チームの取組では、極めて高い充実感を得ていることがわかった。
 他のチームでも、チームの取組の充実感は極めて高く価値を感じている様子が見えたと。

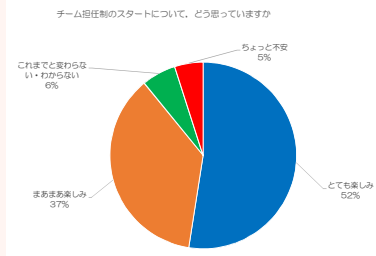
イワスタ（委員会活動）やイワスタ台座、4・5年生生合同宿泊学習に取組んで、どう思っていますか



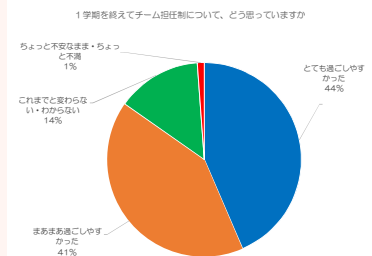
Category	Percentage
とても満足しやすかった	72%
まあまあ満足しやすかった	26%
これまでと変わらない・わからない	1%
ちょっと不安なまま・ちょっと不満	1%
かなり不安なまま・かなり不満	0%

岩倉北のチーム担任制

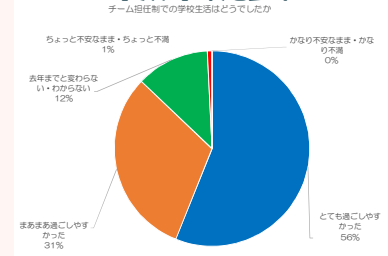
年度始め(児童)



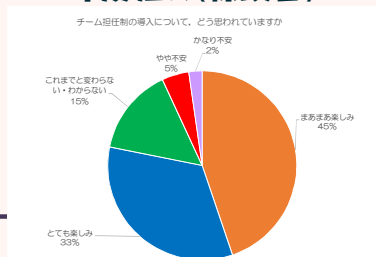
1学期末(児童)



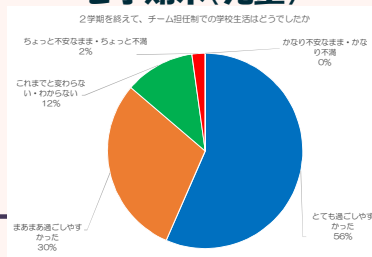
年度末(児童)



年度始め(保護者)



2学期末(児童)



チーム担任制の具体事例 (高学年チーム)

	5年1組	5年2組	6年1組	6年2組	育成学級
国語	学年担当交代・選択制		学年担当交代・選択制		育成
算数	学年選択制		学年選択制		育成
社会	学年担当交代・選択制		学年担当交代・選択制		単元別
理科	専科(教務部)	専科(教務部)	専科(教務部)	専科(教務部)	専科(教務部)
音楽	専科(SS)	専科(SS)	専科(SS)	専科(SS)	専科(SS)
図工	教科担任(5年A)	教科担任(5年A)	教科担任(5年A)	教科担任(5年A)	交流
体育	教科担任(6年A)	教科担任(6年A)	教科担任(6年A)	教科担任(6年A)	交流
家庭科	教科担任(5年B)	教科担任(5年B)	教科担任(5年B)	教科担任(5年B)	交流
英語	教科担任(6年B)	教科担任(6年B)	教科担任(6年B)	教科担任(6年B)	交流
総合	学年合同(課題別・興味別)		学年合同(課題別・興味別)		交流
道徳	チーム内で交換授業				
学級活動	学年担当交代・学年合同・チーム合同				

チーム担任制の具体事例（中学年チーム）

	3年1組	3年2組	4年1組	4年2組
国語	学年担当交代・選択制		学年担当交代・選択制	
算数	学年担当交代・選択制		学年担当交代・選択制	
社会	学年担当交代・選択制		学年担当交代・選択制	
理科	学年担当交代・選択制		学年担当交代・選択制	
図工	教科担任（4年A）	教科担任（4年A）	教科担任（4年A）	教科担任（4年A）
体育	教科担任（4年B）	教科担任（4年B）	教科担任（4年B）	教科担任（4年B）
音楽	教科担任（3年B）	教科担任（3年B）	教科担任（3年B）	教科担任（3年B）
外国語・書写	教科担任（3年A）	教科担任（3年A）	教科担任（3年A）	教科担任（3年A）
総合	学年合同（課題別・興味別）		学年合同（課題別・興味別）	
道徳	チーム内で交換授業			
学級活動	学年担当交代・学年合同・チーム合同			

29

チーム担任制の具体事例（低学年チーム）

	1年1組	1年2組	2年1組	2年2組	育成学級
国語	学年担当交代・選択制		学年担当交代・選択制		育成
算数	学年担当交代・チーム担任交代・選択制				育成
生活	学年合同・交流		学年合同・交流		単元別
音楽	教科担任（2年B）	教科担任（2年B）	教科担任（1年A）	教科担任（1年A）	単元別
図工	教科担任（2年A）	教科担任（2年A）	教科担任（1年B）	教科担任（1年B）	単元別
体育	学年担当交代・チーム担任交代・学年合同・チーム合同				交流
道徳	チーム内で交換授業単元別				
学級活動	学年担当交代・学年合同・チーム合同				

30

チーム担任制の周知と理解

Learning Has No Border.

～学びに垣根はない～

学習担任制→学年（学年制）、教科担任制と学習担任制

年度始め

昨年度、岩倉北小の「学びに垣根はない」をめぐって、改めて学びに垣根はないという思いを共有し、教科担任制では、それぞれの教科の授業の質を高めること、担任のチームによる授業の質を高めること、その結果として高学年を1つの学年に集めた「イスタ」の取組では、児童自身がよりよい学校をつくるために自分自身で活動（スタア）も、全学年で活動（イスタ）を推進し、児童の主体的な活動を高学年担任を中心とした全教員で支えることができました。学校のラヴィタム（従来の在り方）が、学校のすめたいことを教員が児童へ「商売」する教育の場から、児童の「学び」を教員が「支援」する児童が主体的に進出の場へと変わってまいりました。

今年度から、さらにもう一步「児童を主体」にした学校づくりをすすめるために、学習担任制を廃止し、「チーム（学年・学年制）担任制・教科担任制と学習担任制」へ移行します。従来の学習担任を中心とする学習指導や生活指導ではなく、学年や学年（中・高・高学年）を基本として、チームによる指導体制の推進を図ります。

教科指導においては、各教科の担任を定めて専門的な学習指導を行うことができるとします。また、従来の学習担任制ではなく、チーム（学年・学年制）担任制として指導を行うことを基本として、児童との関わりを深めたいとします。ただし、学校ごとに担当が異なる場合もあり、主体的な学習態度の形成を高める効果が期待できます。

学習担任制を廃止することで、これまで学習担任による指導を基本として学年単位で指導することが多かった学習指導が、児童の「学び」を基本とする学習グループを作ったり、学年を3グループに分けたり、縦断グループを構成したりとより柔軟に対応することが可能になり、主体的な学習態度の形成を高める効果が期待できます。

生活指導等においても、従来の学習担任制ではなく、学習担任と児童の関わりをよりよくすることや児童の主体的な活動を促したいとします。チーム（学年・学年制）による指導体制では、より多くの教員と児童の関わりが実現でき、様々な状況に対応することが可能になり、支援に身もみすことができるとします。

上記のようチーム担任制に移行することで、全てが一気に解決するわけではありませんが、岩倉北小の目指す「全教員で全児童を育て、いかに学びの質を向上させるか」という思いを実現することができると考えます。

岩倉北小では、「児童の担任を誰にない」「どのクラスはよく見える」という学習担任制の取組から教員に、学びに垣根はない「イスタ」の取組を推進してまいります。

従来の学習担任制については、高学年・中学年でも廃止し、チーム（学年・学年制）担任制と学習担任制へ移行し、学びの場をよりよくするために学校づくりをすすめます。ただし、低・中・高学年では、教科担任制を推進し、学習担任制を中心とした指導体制、学年や学年間の交流促進などの教科担任制と学習担任制を併用して学びグループの構成を柔軟にすすめます。

4月

1学期末のアンケート結果では、不安傾向があった児童の割合を減らすこととしました。

1学期末のアンケート結果では、不安傾向があった児童の割合を減らすこととしました。児童の不安傾向を減らすこととしました。児童の不安傾向を減らすこととしました。児童の不安傾向を減らすこととしました。

5月

6月

7月

1学期末

9月

10月

11月

12月

2学期末

1月

2月

3月

2学期末のアンケート結果では、4月スタート時の期待値に戻り、期待通りの結果であったことがわかりました。また、不安傾向にある児童の割合も減少傾向であり、これは、チーム担任制の不安定だけでなく、学校生活への不安傾向と捉えて、チームとして児童に寄り添うことができたことが要因と見られます。

年度末のアンケート結果でも、4月スタート時の期待値と同様であり、引き続きチーム担任制の効果が認められました。また、不安傾向の児童の割合も減少し、1学期の期待の成果を感じることができました。

これらの結果は、授業に関する項目、チームイスタに関する項目、学習の進捗に関する項目も同様に傾向があり、4月当初の期待値と同様か、それを超える結果となりました。特に、高学年の委員会活動である「イスタ」の取組については、極めて良好な結果

岩倉北のチーム担任制

Our school is borderless for everyone. ～とりのめくらすをつくらない～

Salon de Iwakita サロン イワキタ

ようこそ岩倉北小へ

10:45 3校時 公開授業① (チーム担任制・学年・学年制)

11:35 4校時 岩倉北小学校とは (キャリア教育、チーム担任制)

12:20 昼食・交流

13:25 はじめての「たてわりそうじ」

13:50 5校時 公開授業② (チーム担任制・学年・学年制)

14:00 6校時 委員会 (イスタ)

14:40 児童会役員会

高学年・中・高学年 委員会活動・キャリアパスポート

興味のある方は yu-84@niwara@edu.city.kyoto.jp まで

令和4年11月21日
京都府立岩倉北小学校

Salon de Iwakita <サロンドイワキタ>

1 日時 11月21日(月) 3校時(10時45分)から17時まで

2 来校 東京都港区立横田小、大阪府高槻市立高十中、静岡県静岡市立中島小、滋賀県大津市立大津南小、岩倉北小・伊木の里小、京都府立岩倉北小・京橋小・龍泉小、高槻市教育委員会

時限	校時	内容
10:30	中庭休み	受付
10:45~11:30	3校時	公開授業①(国語・学芸・チーム担任)
11:35~12:20	4校時	学校説明について
12:20~13:25	昼食休み	休憩・昼食(お弁当 実習科授業します)
13:25~13:45	休憩	はじめての取組体験
13:50~14:35	5校時	公開授業②(国語・学芸・チーム担任)
14:40~15:25	6校時	イスタ(委員会)
15:00~17:00	研修会	興味・関心別研修会(サロン)

3 学校説明について(4校時 多目的室)

岩倉北のタイムスケジュール3校時

第1部 非公式スクール説明

- ①Borderless(ボーダレス)とNo Border(ノーボーダー)の違い
- ②公教育、公立学校のソース、学び
- ③学校のボーダー、ボーダレススタートの可能性
- ④従来のボーダレススタートの実現

第2部 「岩倉北のチーム担任制」

- ①なぜ、チーム担任制なのか
- ②チーム担任制の目的
- ③学習担任制と教科担任制とチーム担任制
- ④チーム担任制のメリット
- ⑤チーム担任制の実態
- ⑥反対や不安はないのか
- ⑦チーム担任制の進め方
- ⑧課題を可能性へ変える

第3部 「岩倉北の委員会活動の軌跡」

- ①令和元年
- ②令和2年
- ③令和3年
- ④令和4年

4 公開授業(チーム担任制)

公開授業は、以下のような位置づけで実施をいたします

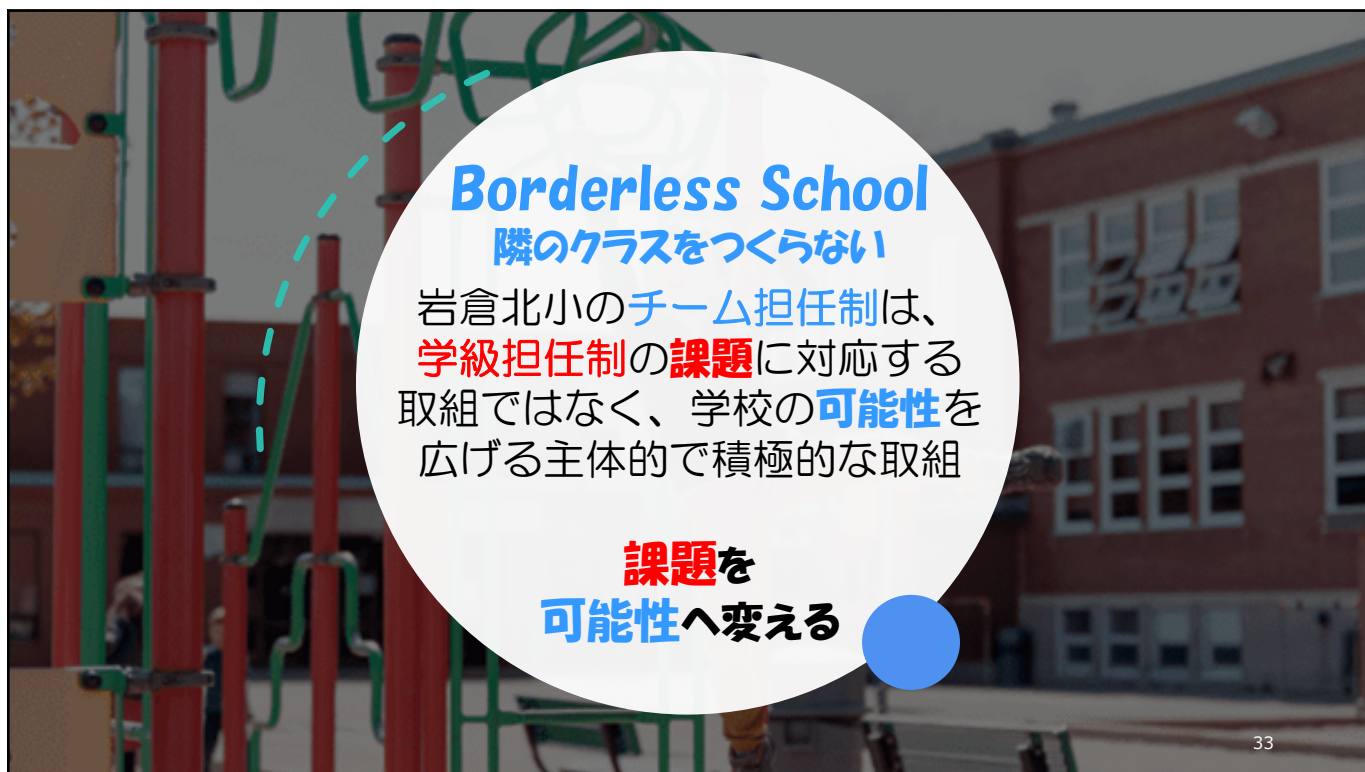
- ①国語・英語・高学年の教科担任制の授業
- ②チーム担任制の授業は、チーム担任(1・2・学年担任)が、学年ごとに4校時で交代して公開授業を行います。
- ③選択制授業：4・5・6年生、選択制授業として、学年内で児童を募集し、児童がコースを選択しています。人数確保はしていません。担当が行ったため人数が入らなかった授業ではあります。
- ④書写(キャリア)：3年生は、キャリア教育の推進を主とした書写の学習担当の授業。
- ⑤音楽・音楽科担任を志望するチーム担任が、音楽の授業を5校時で交代して行っています。本日は、育成学級担任が、5年2組の音楽を担当します。育成学級の5年児童は、交流学級で授業、4年児童は特別学級で授業を行います。
- ⑥国語(3)：今年度の教科研究授業です。学習担当の授業。
- ⑦国語科(1)：今年度の教科研究授業です。学習担当の授業。

校時	1-1	1-2	2-1	2-2
3校時	国語	国語	学芸(2-2組)	学芸(1-2組)
5校時	書写(キャリア)	学芸(3)ア	国語	選択制授業

5 高学年チーム

校時	5-1	5-2	6-1	6-2	交流(お茶会)
3校時	国語(3)	国語(3)	国語(3)	学芸(3)ア	
5校時	国語(3)	国語(3)	学芸(3)ア		

6 その他 授業及び休憩・昼食は、体育館管理室をご利用ください。



Borderless School
隣のクラスをつくらない

岩倉北小のチーム担任制は、
学級担任制の**課題**に対応する
取組ではなく、学校の**可能性**を
広げる主体的で積極的な取組

課題を
可能性へ変える

33



7:08

チーム担任制 小学校の“当たり前”が変わる?

17

できない理由をつくらない
できない理由をつくらせない

課題ではなく
可能性を

家庭・地域との連携のもと、学校評価を有効に活用し、社会に開かれた教育課程の実現に向けた学校経営

垣根のない学校（ボーダレススクール） をめざす、チーム担任制の導入と効果

チーム担任制2年目、楽しんでます

京都府

京都市立岩倉北小学校

三浦清孝